

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立小将町中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 920 - 0932  
石川県金沢市小将町1番15号

E-mail : koshoumachi-j@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/koshoumachi-j/

児童生徒数：男子 116 名 女子 144 名 合計 260 名  
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### ●ユネスコスクールとしての取組 金沢市立小将町中学校

#### 1. 「表現力発表会」を中心とした総合的な学習の時間などの取り組み

##### 【1年生】「郷土金沢の伝統文化」

地域の伝統や文化の継承を目指した取り組みと課題の調査を行った。

##### 【2年生】「伝統文化」

同じ加賀藩の城下町である金沢と高岡の伝統文化の現状と課題について、現地でのフィールドワークを通して郷土の理解を深める学習を行った。

##### 【3年生】「金沢と京都の伝統文化」「現代の世界」

武家の伝統文化が残る金沢と公家の文化が残る京都の比較から、伝統文化について理解を深める学習と本市の海外の姉妹都市出身者との交流を通して、国際理解を深める学習を行った。

##### 【表現力発表会】

3年生が国語科では、『意見文』、理科では、『プレゼンテーション』、社会科では、『ポスターセッション』、英語科では、『英語スピーチ』を行い、文化祭で発表会を行い、保護者も招き、3年生が1・2年生に対して、研究内容について意見発表を行った。

#### 2. 環境問題への取組

##### 【植林地作業】

全校生徒、教職員、保護者が協力して植林地作業を行うことで、学校を愛する心を育み、自然を大切にすることを育てる学習を行った。

##### 【生徒会活動の取組】

「エコキャップ運動」を通して、普段ゴミとして捨てられているペットボトル飲料のキャップを回収して、リサイクルするとともに、その売却益で途上国の子どもたちにワクチンを送る活動を行った。合わせて、キャップがゴミとして捨てられた場合、焼却処分されてCO<sub>2</sub>の発生源になるなどの環境問題に関心を持たせる機会を設けた。

#### 3. 全市一斉「絆」活動の取組

平成20年7月28日に起きた浅野川の氾濫・洪水を忘れないために、金沢市内の小中学校では毎年この日を「全市一斉『絆』ボランティアの日」とし、すべての学校でボランティア活動をおこなっている。今年は小将町中学校では地域の小学校と連携して、小学生と中学生、そして保護者が一緒になって草むしりなどの地域の清掃活動を行った。この様子は、新聞やテレビにも取り上げられた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）